

資料 1

各都道府県産婦人科医会 会長殿

出生前検査に関するアンケート調査(一次医療機関に対する)のお願い

拝啓

残暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私たち厚労科学研究班(小西班)では、昨年度までに産科一次医療施設において出生前検査を希望する患者さんに適切な情報が提供されるように、また、必要に応じて遺伝カウンセリングにアクセスできるようにする目的でリーフレットを作成致しました (<http://gc-png.jp/doctor/leaflet.html>)。

現在の医療資源を考慮するとき、全ての出生前検査を希望する妊婦さんに専門的な遺伝カウンセリングを提供することは不可能であると考えられます。そこで、本研究班では一次施設で必要最小限の情報を提供できる体制の構築を目指して一次施設の医療関係者(産科医師、助産師、看護師、他)にご利用いただく学習マニュアルの作成と実際の情報提供に役立つ教育・研修プログラムの開発を計画しています。

そこで全国の一次施設において、出生前検査に関する相談などがあつた場合に診療を困難にする事項、および情報を提供する際に必要と考えられる事項についてまずはアンケート調査により抽出したいと考えております。つきましては、各都道府県産婦人科医会から一次施設(各都道府県で3施設)に対して同封のアンケート調査にご回答いただくようにご依頼いただけましたら幸甚に存じます。なお、本アンケートでの一次施設とは、妊婦健診を行う施設で、出生前検査を希望する場合に他院へ紹介しているような施設を想定しており、分娩の取り扱いの有無は問いません。ご高配をよろしくお願いいたします。

敬具

平成 29 年〇月〇日

平成 29 年度 厚生労働科学研究

「出生前診断実施時の遺伝カウンセリング体制の構築に関する研究」

研究代表者 京都大学名誉教授 小西郁生

研究分担者 昭和大学産婦人科教授 関沢明彦

(第一分科会代表)

問い合わせ先：昭和大学医学部産婦人科

関沢明彦(電話 03-3784-8670)

資料 1

産科一次医療機関 院長 殿

出生前検査に関するアンケート調査のお願い

拝啓

残暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私たち厚労科研究班(小西班)では、昨年度までに産科一次医療施設において出生前検査を希望する患者さんに適切な情報が提供されるように、また、必要に応じて遺伝カウンセリングにアクセスできるようにする目的でリーフレットを作成致しました (<http://gc-png.jp/doctor/leaflet.html>)。

現在の医療資源を考慮するとき、全ての出生前検査を希望する妊婦さんに専門的な遺伝カウンセリングを提供することは不可能であると考えられます。そこで、本研究班では一次施設で必要最小限の情報を提供できる体制の構築を目指して一次施設の医療関係者(産科医師, 助産師, 看護師, 他)にご使用いただく学習マニュアルの作成と実際の情報提供に役立つ教育・研修プログラムの開発を計画しています。

そこで全国の一次施設において、出生前検査に関する相談などがあった場合に診療を困難にする事項、および情報を提供する際に必要と考えられる事項をまずはアンケート調査により抽出したいと考えております。つきましては、同封のアンケート調査にご回答いただき、同封の返信用封筒でご返送ください。アンケートへの参加は任意であり、謝礼はありません。

なお、本アンケートでの一次施設とは、妊婦健診を行う施設で、出生前検査を希望する場合に他院へ紹介しているような施設を想定しており、各都道府県の産婦人科医会に調査対象施設を選択していただきました。ご多忙の所、大変恐縮ではございますが、〇月〇日までにお送りいただけましたら幸甚に存じます。ご高配をよろしくお願いいたします。

敬具

平成 29 年〇月〇日

平成 29 年度 厚生労働科学研究

「出生前診断実施時の遺伝カウンセリング体制の構築に関する研究」

研究代表者 京都大学名誉教授 小西郁生

研究分担者 昭和大学産婦人科教授 関沢明彦

(第一分科会代表)

問い合わせ先：昭和大学医学部産婦人科

関沢明彦(電話 03-3784-8670)

アンケート調査

アンケート調査を行うことに、(同意します、 同意しません)、
同意いただけた方は以下にご回答ください。

- 1 . 貴施設についてお聞きします。貴施設の分娩取り扱い数 (年間) はいくつですか？
 - A. 取り扱いはなし
 - B. 100 件未満
 - C. 100-300 件未満
 - D. 300-500 件未満
 - E. 500 件以上

- 2 . 貴院の外来診療で出生前診断 (出生前遺伝学的検査) の相談を受けた時に対応できる時間はどの程度でしょうか？該当するものに をしてください。
 - A. 5 分未満
 - B. 5-10 分未満
 - C. 10-20 分未満
 - D. 20-30 分未満
 - E. 30 分以上

- 3 . 出生前診断 (出生前遺伝学的検査) を希望する患者さんがいた場合に 困っていること は何ですか？ 該当するものに をしてください (複数回答可能です)。
 - A. 標準的に提供する情報のガイドラインがないこと
 - B. 倫理的に適切なことがわからない
 - C. 遺伝学的な基礎知識がない
 - D. 染色体疾患の自然歴を含めた情報がない
 - E. トリソミーについての情報がない
 - F. 染色体全般についての情報がない
 - G. 各種検査についての情報がない
 - H. 学んだことがないため遺伝カウンセリングができない
 - I. 時間がないため遺伝カウンセリングができない
 - J. 困った時の紹介先 / 相談先がわからない
 - K. その他 : 具体的にご記入ください

()

資料 1

- 4 . 出生前診断(出生前遺伝学的検査)を希望する患者さんがいた場合に対応するために最低限必要なことは何とお考えですか? 該当するものに をしてください(複数回答可能です)。
- A. 標準的に提供する情報のガイドライン
 - B. 倫理に関する情報
 - C. 遺伝学的な基礎知識
 - D. 染色体疾患の自然歴を含めた情報
 - E. トリソミーについての情報
 - F. 染色体全般についての情報
 - G. 各種検査についての情報
 - H. 遺伝カウンセリングの方法
 - I. 困った時の紹介先/相談先に関する情報
 - J. その他:具体的にご記入下さい。
- ()

- 5 . 出生前検査・診断についてご意見がありましたら記載ください。

以上です。ご協力いただき有難うございました。

(返信用の封筒に本アンケート用紙を入れて昭和大学・関沢明彦までご返送ください)